

# 紫友同窓会会報



■編集発行人：鹿児島大学共同獣医学部 紫友同窓会 〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21-24

■印刷：小野高速印刷株式会社

## 紫友同窓会 会報3号に寄せて

紫友同窓会 会長 西中川 駿  
(昭和36年卒)



紫友同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃から同窓会の運営にご支援、ご協力いただき、心から感謝申し上げます。

さて、平成26年度の評議員会において、名簿の発刊を業者に委託することが承認され、そのため従来の「紫友」に代わり同窓会の情報誌として、年1回の会報を発刊しております。ここにその会報3号をお届けいたします。なお、名簿は昨年12月に発刊され、申込みされた会員に

は届いていることと思います。

母校、鹿児島大学獣医学科は、世界に通用する獣医師養成の国際認証を得るために、昨年5月に小動物診療センターが完成し、また、旧動物病院の改修により大動物診療センターも出来上がり、教職員は教育と研究に一段となって日夜努力されています。私達の同窓会もこれらを支援するために、皆様からの浄財をもって、補助を行って参りました。これからも同窓生の絆を深めると共に、さらにご支援とご協力をよろしくお願い致します。

最後に母校の益々の発展と同窓生の皆様のご健勝を心からご祈念申し上げます。

## 「共同獣医学部の最近の動向と EAEVE 認証公式事前診断を終えて」

共同獣医学部長 宮本 篤  
(昭和57年卒)

会報2号発刊より現在までの共同獣医学の動きについて御紹介させていただきます。一つは、平成29年5月15日に付属動物病院の小動物診療センターが完成し24時間診療体制がスタートしたことです。それに伴い学生も夜間実習に参加しております。6月9日には米国のAAALAC国際より総合動物実験施設の完全認証を取得致しました。国立大学としては北海道大学獣医学部、沖縄科学技術大学院大学に次ぐ3番目の完全認証取得になります。これにより動物福祉に十分配慮された飼育および世話が日常行われている事が第三者により認められ

たこととなります。7月1日にはvetCBT、15日にはvetOSCEと呼ばれる共用試験が5年生を対象に正式に行われました。学部学生はこの試験に合格し「student Dr」を取得しなければ以降の参加型臨床実習に参加することが出来ません。8月25日には山口大学大学院連合獣医学研究科を発展的に解消し、山口大学との共同教育課程として鹿児島大学大学院共同獣医学研究科を今年4月に設置する事が文科省より認められました。9月13-15日には日本獣医学会学術集会在鹿児島大学で行われました。10月23-27日に山口大学および鹿児島大学でEAEVE（欧州獣医学教育機関協会）の公式事前診断を受けました。今回の指摘事項を受けて更なる教育改善を行い、予定より1年前倒しの平成31年度内のEAEVE認証取得を目指します。引き続き、どうぞ皆様方の暖かいご支援およびご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



小動物診療センター



AAALAC認証盾

## 臨床教育の充実と新動物病院！

三浦 直樹(平成9年卒)

獣医学教育の欧州水準を満たすために、「臨床教育の充実」を焦点に獣医学部の教育は変革期を迎えています。実際に、従来は6年間で5週間程度であった参加型臨床実習(ポリクリ)が、昨年から40週以上になりました。動物病院も小動物診療センター、大動物診療センター、軽種馬診療センターと大隅診療センターと4つのセンターが存在します。

国内の大学は欧米の大学と比べて臨床教育のハード面とシステム面が依然として貧弱であることは事実です。新しい病院には初学者の学生と一緒に診察を学べる広い診察室が3部屋あり、学生や研修医が診察するのを教員が確認できる(もちろん、その逆も)診察室が5部屋あります。手術室も5部屋があり、動物と術者が別々のルートから手術室に入るシステムとなっています。重症例専用のICU治療室も完備しました。一方で、以前の病院は1階部分が改修されて産業動物の診療入院設備と隔離



受付から見た犬待合室

室、伴侶動物の隔離診察入院室、さらに病理解剖室が設置されました。学生には伴侶動物も産業動物も同じように、十分に学べる環境を整えました。

ポリクリでは、小動物と産業動物の実習を合わせると、毎日、20名程度の学生が何かの実習に参加しています。30名の学生は将来の就職に関わらず、ポリクリを一年間通じて行い、基本的な臨床技術の習得を目標にしています。海外では必須である夜間24時間診療実習も最低5週間経験します。国内の大学では新しい試みですが、学生は全員が犬や猫のみならず、牛と馬からも採血はできると自信を持っています。

最後になりますが、動物病院が本当の意味で生まれ変わるには、教育を実際に行う現場の教員が、学生教育、臨床の発展に本当の実力を発揮することが必要です。新しく発進した動物病院が真っすぐ大きく育つように、同窓生の先生には、より一層の叱咤激励をお願いします。



参加型実習の様子

## 東西南北同窓会・同窓生便り

### 昭和57年卒同窓会報告

宮本 篤(昭和57年卒)

平成28年7月17日(日)に昭和57年卒(第40期、修士59年修了)の同窓会を10年ぶりに下荒田の寿庵にて開催致しました。獣医学教育6年生(学部4年+修士2年)の第1期生で修了時は23名でしたが、国試合格100%の仲の良い学年で

した。大阪方面からも4名が参加してくれて大いに盛り上がりました。次の同窓会は平成33年?(2021年)に開催できたらと思っています。



### 昭和40年卒同窓会報告

館本 秀夫(昭和40年卒)

卒後50年の23期生の同窓会は清末眞一君(元大分県畜産課長)の担当で平成28年11月13日(日)別府温泉ホテル芳泉鶴において13名が参加して開催されました。一昨年4月の熊本地震について熊本県在住者から地震発生時やその後の経

過を聞き、被災し参加できなかった同級生にお見舞いの色紙を作成しました。宴会に先立ち物故者5名を偲び黙祷をささげました。乾杯の音頭は前年病床から懸命なりハビリにより順調に回復した井上忠恕君(元動物衛生研究所研究部長)がとり、開始されました。2000年に入り多くが定年退職した頃より、毎年開催し当初の様に名札の準備、記念写真に気を遣うことなく、気分は学生時代の天文館くむじゃきで行ったコンパに戻りました。鹿児島県獣医師会会長の坂本 紘君(鹿児島大学名誉教授)は第2回世界獣医師会などの激務の中を参加してくれました。<継続は力なり>この言葉が23期同窓会の合言葉です。次回は熊本菊地温泉で、その次は多くが迎える喜寿を祝って鹿児島市開催予定です。

### 昭和55年卒同窓会報告

梅崎(原田)みどり(昭和55年卒)

平成28年11月19日(土)の夕方、天文館の「吾愛人」で、久しぶりの鹿児島での同級会を開きました。参加者は15名で、千葉や大阪からも駆けつけてくれました。(写真参照、ただし江口君は写ってない)

宴会に先立ち、松元さんのお世話により16時から大学見学をさせていただきました。近年では、大学祭時でのアルコール禁止はもちろん、学内も常時「禁アルコール」という事で、入学式から芋焼酎に親しんだ(?)私たちはびっくりしました。私がある某県では県職員の飲酒による不祥事が続いているので、大学としてはなかなか賢明な、悲しい決断だったかと思えます(苦笑)。また、後で知ったことですが、大学ではちょ

うどその頃出水市のナベツルの鳥インフルエンザの検査をやっており、その後の関係者の苦労が始まっていました。

さて、宴会では懐かしい天文館に繰り出し、37年ぶりに会う人も居て盛り上がりました。懐かしい話で夜中まで店を変えながら楽しみました。60才を過ぎ、たいてい病気も持っていますが、5年後にまた是非開こうとの話で終わりました。在学中はあまり思わなかったけど、この大学に来て本当によかったです。

皆さん、参加してくれてありがとうございました。



## 昭和50年卒同窓会報告

高瀬 公三(昭和50年卒)

平成29年6月3日(土)に、同期の18人が恩師である西中川駿先生と坂本紘先生をご招待し、天文館のホテルパレスインで同窓会を開きました。卒後42年経過し、写真のように皆の髪は乏しく、あるいは白髪となり、恩師と同じような姿となりました。実は4年前にも同窓会を開いたので、大方の仲間は4年ぶりなのですが、今回は加治屋繁君と人見十郎君が初めて参加し、同窓会を楽しく、思い出深いものにしてくれました。私たち同窓生の女性は4人だけ

ですが、うち2人(毛利裕子さんと中垣慶子さん)も参加し、会はさらに盛り上がりました。遠くは仙台(毛利君)、東京(中垣さん)、長野(出来君)、京都(人見君)から駆け付けて参加してくれました。話は尽きない中、5年後の再会を誓って閉会、そのまま天文館で二次会へととなりました。



## 農林水産省での三十有余年

大石 弘司(昭和59年卒)



同窓会報に何か書くと恩師に言われ、今年度で退職する時期に当たるので、鹿児島大学を卒業して農林水産省入省後のこれまでを振り返ってみた。

昭和61年4月入省後配属されたのは「動物医薬品検査所」という日本で唯一動物医薬品の許認可等を所感する検査指導機関(学生時代はその存在も知らなかったのだが)であり、以来30有余年のうち約25年間にわたって主に動物薬事行政に携わってきた。動物医薬品も人体医薬品と同じ法規制の下で許認可が行われるが、特に産業動物用の医薬品は対象が経済動物であるためどうしても価格の低廉化が期待される。ここで経済活動と規制のせめぎ合いが始まる。安全性・有効性を保ちつつ、効率的な製造管理・品質管理を行い、価格を抑えないと経済行為として成り立って行かない。しかしながら医薬品を販売するにはとても沢山の規制があり、一筋縄ではでき

ない仕組みになっている。例えば、ワクチンを輸入するには一般的な承認・許可の他に、毎年輸入数量を申告して配当を受ける必要があった。入省6、7年目ころの担当係長時代、この輸入割当制度から動物用ワクチンを除外する事が私にとっては初めての規制緩和に関する大仕事になった。

その後も、生産コストの低減化につながるように国家検定制度や承認制度に関して様々な規制緩和を実施してきた。平成13年のBSE発生後、食品安全基本法が成立して動物用医薬品についても食品健康影響評価を受ける仕組みとなり、いわゆる規制強化に振れた時期はあったが、総じて見ればずっと規制緩和に取り組んできたという所感である。

医薬品開発・製造の基礎になっているのは医学・獣医学である。技術の進歩に合わせて時代にあった規制に見直していくのが行政官庁の役割ではあるが、技術を使っている人・業界も合わせて進歩しないとなかなか難しくなる。規制を傷口に貼った大きな絆創膏と例えると、規制緩和は傷の治り具合を見ながら絆創膏を徐々に外していくようなもの。日本の動物医薬品業界が、絆創膏のいらぬような成熟した業界に育つことを期待したい。(動物医薬品検査所、検査第一部長)

## 雑感～沖縄から

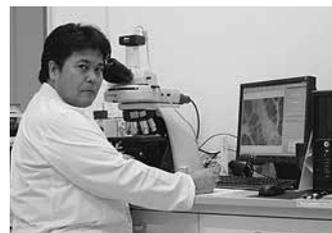
豊島 靖(平成6年卒)

平成6年に学部を卒業し、その後大学院での4年間も鹿大で過ごし、そろそろ卒業・修了年度も誤差の範囲と言っても過言ではないかという今日この頃。同期の皆様如何お過ごしでしょうか、ご無沙汰しております。創刊3号にして、何でまた自分に原稿の依頼が?と思いましたが、改めて数えると大凡卒後20年になるのかと感慨ひとしおです。

卒後しばらくは、いくつか職を変え、生来の筆無精も相まって研究室への連絡も途絶えていました。最近、鹿児島への出張の機会が増えたことで、思い切って解剖学研究室を訪ねたところ暖かく迎えていただき、恐縮するばかりです。農学部の一学科から一つの学部となり、建物もきれいに

に改修されていましたが、変わらぬ4階の角にある研究室に懐かしい思い出がよみがえりました。また、同窓会長でもある西中川先生には、既に退官されていることもあって、ご自宅へ突然訪問する形になってしまいましたが、快く歓迎していただきまして、在学中と変わらぬご厚情に唯々感謝しております。

思えば、多様な職を経験し、現職に就けたのも、多くの恩師、恩人との出会いがあればこそ、同窓の皆様、特に現役学生の皆様にも良い出会いがあります様に祈念します。(沖縄県家畜衛生試験場、研究員)



## 同窓会活動便り

### ◆鶴田氏の絵画寄贈!

小動物診療センターの開院祝いに同窓会から絵画を寄贈しました。作者は本会の鶴田勉会員(昭和49年卒)で、同氏のご好意により作品を提供していただき、額縁と銘板を付けて、病院の待合室に飾られています。鶴田会員は鹿児島市内で動物病院を開院し、診療の傍らAJAC会員としてアクリル画を描き、これまで様々な美術展で受賞されるという経歴もお持ちの方です。ご本人は趣味と謙遜されておられますが、なかなか味わいのある絵を描かれています。今回寄贈していただいた絵は「母と仔」という題の100号の大作で、

3匹の親子のほのぼのとした雰囲気伝わってくる素晴らしい作品です。会員の皆様も是非ご覧になってください。



左から3番目が鶴田会員

## ◆第160回日本獣医学会学術集会開催

第160回日本獣医学会学術集会が、鹿児島大学郡元キャンパスで9月13日から15日までの3日間開催されました。大会長は高瀬公三会員（昭和50年卒）が務め、シンポジウムや一般講演などに全国から約1,500名の関係者が参加し、盛会裏に終了しました。同窓会から資金面で支援をしたところ、学会の運営はスムーズに進んだようです。



## ◆ベストクラスメート賞

同窓会は、卒業生の中からクラスの取りまとめを最も熱心に行った男女各1名を、ベストクラスメート賞として毎年表彰しています。平成28年度は、水野真伸会員、柳裕子会員でした。

## ◆奨学寄附金等の贈呈

平成29年度は、第160回日本獣医学会学術集会の開催支援に50万円の奨学寄附金を贈呈しました。また、小動物診療センターに寄贈した絵画の額装及び銘板代15万円を支出しました。

## ◆会計報告

平成28年度の一般会計収支決算書（平成29年6月17日の評議員会で承認）の概要を表に示しました。収入3,051,030円に対し支出1,018,011円で、2,033,019円が繰越額です。なお、平成28年度学術基金の収支決算では、収入6,812,277円に対し、2,150,972円の支出があり、4,661,305円が繰越額となっています。

平成28年度の一般会計収支決算書 (単位 円)

会計	項目	決算
収入	繰越額	1,765,714
	会費	928,452
	学生会費	290,000
	入会金	16,500
	雑収入	364
	繰入金	50,000
	合計	3,051,030
支出	会議費	129,600
	印刷費	8,544
	通信費	358,095
	寄附費	251,000
	消耗品費	37,648
	人件費	113,600
	その他	119,524
	合計	1,018,011
繰越し	(収入 - 支出)	2,033,019

## ◆会費等納入のお願い

同窓会の収入は、会員諸氏による年会費（1,500円）及び学術基金（寄附金、一口500円）から成り立っています。前回から年会費をコンビニからも納入できるように専用振込用紙も同封しましたのでご利用ください。皆様からの浄

財は、会報発行や共同獣医学部への支援等に大切に使用させていただきます。今後とも同窓会活動へのご理解・ご支援と共に、会費等納入をよろしくお願い申し上げます。

## ◆学部教員の異動（発令日順）

新任：高橋 香 特任助教（動物病院 H29.5.1）  
古澤 悠 特任助教（動物病院 H29.9.1）  
内藤 清惟 准教授（行動生理・生態学 H29.11.1）  
百武 幸治 特任助教（大崎活性化センター H30.1.1）  
昇任：正谷 達膳 准教授（TADセンター H29.4.1）  
十川 英 助教（動物病院 H29.4.1）  
須永 隆文 助教（動物病院 H29.4.1）  
一二三達郎 助教（TADセンター H29.4.1）  
転出：藤田 志歩 准教授（行動生理・生態学 H29.4.1）  
辞職：堀江 真行 特任助教（TADセンター H29.3.31）  
橋 由里香 特任助教（動物病院 H29.3.31）  
山崎 裕毅 特任助教（動物病院 H29.3.31）

## ◆同窓会役員

現役員名簿に代えて、本年度の評議員会に出席された委員の集合写真を掲載します。



## ◆訃報 謹んでご冥福をお祈りいたします。

高原 勲 (25) 都甲 義則 (20) 菅野 壽一 (35)  
賀久 好裕 (36) 山田 勝彦 (18) 富永 正興 (35)  
安齊 哲郎 (23) 安藤 等 (19) 合志 重信 (31)  
本村 道賢 (31) 片平 一美 (17) 山本 博康 (33)  
古庄 健 (20) 肝付兼次郎 (42) 川畑 英雄 (22)  
柳田 吉孚 (33) 有蘭 米蔵 (29) 岩元 重弘 (19)  
(敬称略：平成28年3月～平成29年3月末にご逝去)

## 編集後記

一昨年4月の熊本震災、昨年7月の九州北部豪雨と立て続けに災害が発生しました。被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。また、鹿児島湾沖地震や新燃岳の噴火等自然の脅威に曝されている状況でもあります。さて、会報を師走になっても編集している状況で、年明けにお届けすることになりました。編集子の怠慢をお詫びします。今回も4ページ構成となっています。会報は皆様からの情報提供の場としてこれからも発信していきますので、同期会や支部会からのお便りをお寄せください。

## 連絡先

鹿児島大学共同獣医学部産業動物内科学研究室内  
紫友同窓会（事務局）  
TEL：099-285-3538/8711（FAX 兼用）  
E-mail: k2088185@kadai.jp  
(お願い：出来るだけ FAX またはメールをご利用ください)